



ふれあいの道

城南小を動かす力

高学年はすごいなあ

「うわっきたない。ヘドロやゴミがすごくてまってる。」

「こんなにきたないのが、本当にきれいになるのかなあ。」

昨日プール掃除を始めた六年生は、予想していたよりも汚いプールの様子に驚いていました。八月のプール開放以来十か月ぶりですから、当然です。このプール清掃を、毎年六年生がやってくれています。

さて今年の六年生も実力発揮です。バケツでヘドロや泥を運び出し、デッキブラシでゴシゴシこすり、どんどんプールがきれいになっていきました。中にはヘドロや泥が飛び散って、手足にかかったり、ホースの水で濡れてしまったりする子もたくさんいました。でもさすが六年生、そんなことに負けないで、みんなで力を合わせて頑張ってくれました。来週の月曜日は、プール開きです。六年生がきれいにしてくれたプールに、この週末で水を張ります。六年生のみなさん、ほんとうにありがとうございます。

先週の土曜日の「ふれあい大運動会」は、それぞれがこれまでの練習の成果を発揮して、素晴らしい運動会となりました。この運動会の大成功の陰には、高学年の子どもたちの係りの活躍がありました。特に最後の

片付けでは、熱中症対策で張った各学年のテントの片付けに、高学年が最後まで頑張ってくれました。

水泳学習が楽しくできることや、素晴らしい運動会ができたのは、

こうした子どもたちの働きがあります。「城南小のために」「小さい

子たちのために」という責任感。

城南小学校を動かす頼もしい高学年に感謝の拍手とエールを送ります！



校庭の花 シロバナヤエウツギ(白花八重空木)

1年生の下駄箱を出たところの2メートルくらいの高さの木に、白く可愛らしい花がたくさん咲いています。つぼみは丸く、開くと白い花びらが八重に重なり合って、なかなか華やかです。名前を教頭先生が調べてくれました。シロバナヤエウツギ(白花八重空木)でした。ウツギは、もともと日本原産の植物で山野に自生しています。八重咲きのものは、その変種だそうです。



さて今日から6月になり、気づくと校庭や「あじさい通り」のアジサイの花も色づいてきました。花は季節を忘れずにちゃんと花をつけます。調べてみると実はこのシロバナヤエウツギは、アジサイ科ウツギ属の植物でした。アジサイの仲間であるとは驚きです。「ウツギ」とは漢字で「空木」と書きます。中がからっぽの木ということです。ハサミで枝を切ってみると、その名の通り、本当に枝の中が空洞になっていました。花言葉は「気品・品格・古風」だそうです。日本古来の美しさを感じる花です。